

令和7年度 文学散歩のご報告

埼玉県の三偉人（塙保己一、渋沢栄一、荻野吟子）で、一万円札の顔渋沢栄一ゆかりの地を訪ねました。参加者は17名でした。当日は、秋日和の穏やかな天候に恵まれ、三つの価値ある建物をゆったりと見学することができ、有意義な半日となりました。



青淵文庫前にて

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 令和7年10月31日(金) 10:00～ |
| 2 散策方面 | 飛鳥山界隈（渋沢史料館等） |
| 3 見学場所 | JR 王子駅(中央改札口)～飛鳥山公園～渋沢史料館～青淵文庫～晩香廬
～大衆割烹 半平(昼食) 解散 13:30 |

渋沢史料館



1982年、渋沢栄一の旧邸「暖依村莊(あいいそんそう)」跡に設立された登録博物館です。。今なお注目され続ける渋沢栄一を知り、学び、考える拠点です。

1840年、現在の埼玉県深谷市に生まれ農業・商業を営む実家を手伝うかたわら、尊王攘夷思想に傾倒しましたが、縁あって一橋慶喜の知遇を得て家臣となりました。

1867年パリ万博で文明に触れ感銘を受けました。帰国後その経験を活かし、民間の立場から約500社にのぼる株式会社・銀行などの設立や経営指導に尽力しました。また、民間経済外交・社会公共福祉事業に取り組み、近代日本の経済社会の基礎を作りました。近

代日本経済の父と称され、経営哲学の名著「論語と算盤」を著したことは、城山三郎の「雄気堂々」に渋沢栄一の生涯が描かれています。

渋沢栄一の座右の銘「天意夕陽(せきよう)を重んじ、人間は晩晴を貴ぶ」に、晩年の生き方を学ばれます。

青淵文庫(書庫)



青淵文庫(せいえんぶんこ)は、渋沢栄一の80歳のお祝いと、男爵から子爵に昇格した祝いを兼ねて竜門社(渋沢栄一記念財団の前身)が寄贈した煉瓦及び鉄筋コンクリート造の建物です。1925(大正14)年の竣工で、栄一の書庫として、また接客の場としても使用されました。国指定重要文化財です。

渋沢家の家紋「丸に違い柏」に因んで柏の葉をデザインしたステンドグラスやタイルが非常に美しい洋館です。

晩香廬(洋風茶室)



晩香廬(ばんこうろ)は、渋沢栄一の喜寿を祝って現在の清水建設(株)が贈った洋風茶室です。1917(大正6)年の竣工で、丈夫な栗材を用いて丹念に作られ、暖炉・薪入れ・火鉢などの調度品、机・椅子などの家具にも、設計者の細やかな心遣いが見られます。晩香廬は内外の賓客を迎えるレセプション・ルームとして使用されました。

青淵文庫とともに、国の重要文化財に指定されています。
(文責 佐藤 修)

平成20年度以降の柏樹会文学散歩 見学場所

平成20年度	10月31日(金)	蘆花公園 世田谷文学館
平成21年度	10月30日(金)	浅草界限 久保田万太郎 池波正太郎記念文庫
平成22年度	10月29日(金)	向島 墨東界限 永井荷風
平成23年度	10月28日(金)	東大駒場界限 旧前田侯爵邸 日本近代文学館
平成24年度	10月26日(金)	東大本郷界限 漱石 一葉 啄木 秋声
平成25年度	10月25日(金)	三田・慶応大界限 (雨天のため中止)
平成26年度	10月24日(金)	三田・慶応大界限 佐藤春夫 久保田万太郎
平成27年度	10月30日(金)	早稲田界限 関口芭蕉庵 坪内博士記念演劇博物館
平成28年度	10月27日(木)	皇居東御苑界限 松の廊下 天守台 国立公文書館
平成29年度	10月27日(金)	両国界限 芥川龍之介 勝海舟 一茶 吉良邸 回向院

平成 30 年度	10 月 26 日(金)	雑司ヶ谷界限	鬼子母神	霊園	宣教師館	護国寺
令和 01 年度	10 月 23 日(水)	神田界限	湯島聖堂	ニコライ堂	漱石文学碑	神保町
令和 02 年度	10 月 30 日(金)	谷根千界限	(コロナ感染予防のため中止)			
令和 03 年度	10 月 29 日(金)	谷根千界限	(コロナ感染予防のため中止)			
令和 04 年度	10 月 28 日(金)	谷根千界限	渋沢栄一墓所	寛永寺	鷗外記念館	
令和 05 年度	10 月 27 日(金)	田端界限	田端文士村記念館	文士旧居跡	六義園	
令和 06 年度	10 月 25 日(金)	早稲田界限	漱石山房記念館	早稲田大学博物館他		
令和 07 年度	10 月 31 日(金)	王子界限	飛鳥山公園	渋沢史料館	青淵文庫	晩香廬

希望する見学場所や内容等についてご意見等がありましたら、下記の文学散歩担当者にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

理事 佐藤 修

幹事 細井 和男 伊東 和幸 佐藤 順子